



くじら組だより

令和7年7月30日

天沼保育園

くじら組

今月は水遊びに七夕、夏祭りなど盛りだくさんな一か月でした。子どもたちも毎日遊びに追われて、とにかく楽しむことに必死だったように思います。特に夏祭りは大盛り上がりで、終わった後もそのままお祭りの遊びを続けている子どもたちです。今回は全体の様子からは離れて紹介されていないエピソードをお知らせしたいと思います。

【絵本の世界】



6月に「がらがらどん」の絵本を何人かで読み合った時があり、終わった後も大人の周りを「かたことかたこと」と言いながら歩いて「誰だ橋をガタピシさせるのは」と大人が言うと「たべないでください」とがらがらどんになりきって遊ぶ姿がありました。

絵本の世界に入りごっこ遊びを楽しみながら表現する姿が面白いなと思い、今月のいつかの夕方に、季節は違いますが「てぶくろ」の絵本をその場にいた子と読み合ってみました。読みながら「てぶくろにいるのはだあれ」と台詞を言いながらマイクを持っているつもりで、子どもたちに手を向けてみました。すると「はやあしうさぎよ」や「きばもちいのししだ」と返事をしてくれたり、大人が「おしゃれぎつねよ、あなたは」と聞くと自分の名前を「〇〇〇〇です」と言ってくれて、子どもたちの名前を登場人物にして読むと「わたしもやって」「ぼくもやって」と嬉しそうにリクエストしてくれました。読み終わった後や次の日も子どもたち同士で「てぶくろにいるのはだあれ」「のっそりぐまだうおー」とかけ合いをしてみんなで絵本の世界に入って遊びました。絵本からだ簡単にイメージを受け取ることができるので、これからも子どもたちが好きそうな絵本と一緒に読み合い、そこから遊びに広がって友達と表現遊びを楽しむきっかけになったら嬉しいなと思っています。



【作りたい物】

昨年度から空き箱を集めて工作を楽しんでいた子どもたち。空き箱を見て「こんなのができそうだな」とイメージしながらとりあえず作り出し、予定と一緒に違うものでもできたことを楽しんでいました。今年度は試しに工作の本を部屋に置いてみると、その本を見ながら大人に作り方を聞き、具体的な目標をもちながらどうすればできるかを考え、紙相撲のお相撲さんや紙コップを使った風船などを作っている姿が増えてきました。ただ自由に作ることが楽しい時期から、よりかっこいい物を上手に作りたい気持ちが育ってきているのかもしれないと感じました。お祭り同様、必要な材料や道具を用意しながら、目標に向かって作ることがこれからも楽しめたら嬉しいなと思います。



お知らせ・おねがい

気温の高い日が増えて、水遊びやシャワー自体ができない日も増えています。室内で遊んで着替える機会もありますので、シャワーセットとは別に着替えカゴに必要な着替えの補充をお願いいたします。
(子どもたちが自分でやると意識しやすいかもしれません)

次月の予定

4日 身体測定
25日 避難訓練
29日 水遊びじまい

